



ひかいの森の子どもたち



滝沢市立滝沢東小学校だより No.8 令和4年9月14日

あきらめず かがやく自分 最後まで 晴天の中 運動会開催



9月10日（土）晴天に恵まれ、菊池直子教育委員をはじめとしたご来賓の皆様、たくさんの保護者の皆様が見守る中、運動会が行われました。

開会式は、全員整列、入場行進後、紅白組団長の遠藤羽琉さん、上條泰聖さんが堂々と力強く開会宣言を行いました。また、全員そろってのラジオ体操を行いました。特に、1年生にとっては、自分の立ち位置を確認しながら整列することや、みんなと揃って同じ動作をする経験は少なかったのですが、この運動会の練習の間に、きちんと整列ができ、揃った動きをすることができるようになりました。そして、練習の時からよいお手本となってくれたのは2年生の皆さんでした。

1. 2. 4. 6年生は徒競走を行いました。1年生にとっては初めての50m走となりましたが、コースを外れることなくみんなが走りぬきました。他の学年も、その学年に応じた力走を見せてくれました。途中で、転んでしまった子もおりましたが、すぐに立ち



上がって走る様子に「最後までやり通す心」を感じました。

3. 5年生はチャンスレースを行いました。3年生では、引いた数の分だけ箱を積み上げて運ぶ競技でしたが、多い数になっても最後まであきらめずに運ぶ姿が見られました。5年生は、会場内から、条件にあった人を探す競技でしたが、会場の皆様のご協



力もあり、一緒にゴールする姿に微笑ましいものがありました。また、中学生の積極的な協力もあり、とても盛り上がりました。

低学年の団体競技は玉入れでした。前半の部分ではかわいいダンスも披露しました。各組軍の応援団を中心として、一緒に踊る姿も見られ全校の一体感を感じた一コマでした。



中学年の団体競技は綱引きでした。感染症対策もあって3、4年別々の対戦となりましたが、全力で綱を引き合い、手に汗握る瞬間でした。



高学年の団体競技は、数多くのタイヤを取り合う競技でした。5倍の得点の大きなタイヤを狙うか小さなタイヤを積み重ねるか、子ども達の知恵をはたらかせた作戦と判断、そして何より協力する姿がたくさん見られた競技でした。また、精一杯競った後、悔しさに負けずきびきびと行動した姿も立派でした。



競技の最後は、**低学年、高学年のリレー**でした。低学年は、一生懸命走る姿、高学年は、見事なバトンの受け渡しに特に印象に残りました。さすが、選ばれた代表選手と感じました。

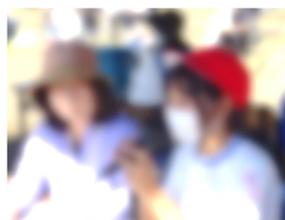


運動会では、競技だけでなくそれを子どもたち自身で支える**各係活動**も子ども達を育てる機会として重要となります。今回も、進行係、応援リーダー、児童係、出発係、決勝係、誘導係、採点係、用具係、救護係、接待係、児童会執行部に5、6年生が分かれ、準備の段階から積極的に活動し、当日もきびきびと役割を果たす姿は大変すばらしかったです。また、競技のため5、6



年生が抜けた時、代わりに自主的に活動した4年生にも大きな成長を感じました。

閉会式では、暑い中、疲れていたにもかかわらず、整然と並ぶ姿にスローガンを意識した子ども達の気持ちとそれを育ててくださった保護者、教職員に感謝の気持ちで心が熱くなりました。競技では、赤組が



勝利しましたが、勝敗にかかわらず、一生懸命な「かがやく自分」がたくさん見られたよい運動会になったと感じています。

最後になりましたが、駐車場係を引き受けていただいたり、後かたづけにご協力いただいたりした保護者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

お知らせ

本年度4月より、本校に勤務しておりました中川絵美先生が、8月で、任期切れとなり退職となりました。これまでの保護者の皆様のご厚情に感謝いたします。なお、中川先生が受け持っていた教科等はしばらく担任が中心に指導してまいります。後任は決まり次第お知らせいたします。

